

令和3年度 第3回伊東市政モニター会議録（要旨）

日 時 令和4年2月17日（木）午後2時～3時35分

場 所 Web会議

出席者 市政モニター9人（1人欠席）

市長、副市長、企画部長、秘書課長、担当

1 開会

2 市長あいさつ

今回の会議の開催に当たり、開催日が新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置の実施期間と重なってしまったことから、延期も検討したが、モニターの方からご提案をいただき、初めてWeb会議形式で開催することとした。これが最後の会議となるので、忌憚のない意見をお寄せいただきたい。

3 懇談

令和4年度予算について（令和4年度伊東市各会計予算案公表資料を用い、新規・拡充事業を中心に概要を説明 副市長）

【モニターA氏】

本日最後の会議ですので、一言ご挨拶をさせていただきます。市政モニターという貴重な体験をさせていただき、誠にありがとうございました。私達の質問や意見に一つ一つ丁寧に直接答えてくださった小野市長に心よりお礼申し上げます。また、市役所のスタッフの皆様にも心より感謝申し上げます。残念ながら、地元の年配の方々からは「伊東市は何もしてくれないよ」という声を聞くことが少なからずあります。一方で、大学や専門学校への進学で一時伊東を離れた若い方で、戻ってきて頑張っている方たちとお話をしますと、皆さんすごく伊東を良くしたいと思っていることを強く感じます。今後もぜひ市長への手紙や市政モニターを通じて、市民の声を市政に生かしていただきたいです。

それでは、令和4年度の予算案に対しまして、質問と意見を述べさせていただきます。資料の16ページの新図書館建設事業費についてです。新図書館建設に向けた実施設計を行う事業ということで、1億892万9,000円が計上されています。これは新図書館に関する全費用ではないと思いますが、新図書館の土地購入代金と建設費用の金額を教えてくださいと思います。質問をさせていただき経緯は、ある市民の方で、「新図書館には300億円投入される」と批判をされている方がいます。300億円はあまりに高額で間違いだと思います

ので、正しい金額をお伝えしたいと思っています。

また、既に図書館の建設予定地は決まっているので難しいかもしれませんが、高額のコストを投入する場合は、多くの人々が有効的に利用できる場所でないといけないと思います。現在の予定地は、訪ねてみても多くの人々が利用するには不便な場所だなど感じます。可能ならば、伊東駅周辺に伊東ならではの木造高層建築を建てるとか、その下にお迎えができるようなロータリーも作りながら、道の駅なども設置して、伊東市民の方も観光客の方も楽しく利用できるような、癒し系の図書館ができないのかなと改めて思いました。今からではもう間に合わないかもしれませんが、伊東駅周辺であれば市民の皆さんもバスで寄れますし、とても便がいいのではないかと思います。

【市長】

300億円は正しくありません。始めに、土地の購入費用は2億500万円です。その後、令和2年度に基本構想の策定を行い、715万円かかりました。今年度は基本計画と基本設計に入り、5,220万円の予算を計上しました。そして、新年度の予算のほとんどは実施設計にかかる費用で、1億705万2,000円となっています。建設工事費等の総事業費については、基本計画において概算を公表していますので、それに沿って説明いたします。建物の建設工事費は25億1,000万円、その他家具や図書の購入、ICTの整備を含め、全体で31億8,200万円になります。

建設予定地についてもご意見がありました。周辺には健康福祉センターもあり、中心市街地といえます。確かに駅からは少し離れていますが、十分便利なところであると思いますし、今後また必要であればバスの路線なども検討いたします。

令和7年1月の開館を目指していますが、施設の特徴を申し上げますと、フロアごとにゾーニングがされています。例えば、1階はエントランス、カフェ、ギャラリーショップ、それから、予約の本のコーナーなどを置きます。2階はギャラリーなどの展示スペースや、雑誌や新聞のコーナーを置きます。3階は託児スペースや授乳室、児童用のトイレ、グループ学習室などを置きます。4階は専門的な分野の書籍や、郷土資料を配架します。今の図書館はワンフロアですが、これからは4階まで活用できますし、外には子供の遊び場を作ります。また、カフェも作りますので、例えばそこでランチを取っていただくなど、いろいろな方の憩いの場になればと考えています。完成した際には、ぜひご利用いただければと思います。

【モニターB氏】

1年間ありがとうございました。12ページの農林水産業費の鳥獣駆除巡回事業について、私自身数年前まで猟銃を持っていまして、有害鳥獣駆除をやっていました。私は中伊豆から移住して来まして、山に囲まれたまちですので、有害鳥獣の被害が結構多かったです。有害鳥獣はありふれた鳥獣だけでなく、今は外来種の問題もあります。今伊東市内にいる外来種についての啓発ポスターを貼るなどし、目撃情報を集めることで駆除につなげていければと思います。

15ページの教育費の適応指導教室事業といじめ・不登校対策事業について、いじめ・不登校に関しては私も前々からずっと考えていきましたが、子どもの心の一生を決めることだと思いますので、いじめ対策や不登校対策にはしっかりと取り組んでいただければと思います。

【市長】

有害鳥獣については、伊東市もかなり対策をしています。言うまでもなく、イノシシとシカによる農作物への被害はかなり出ていまして、毎年相当の数を捕獲しています。それを有効利用しようと、加工した食肉の販路を探しているところですが、今どのような有害鳥獣がいるのかについては、後ほど副市長から説明いたします。

適応指導教室やいじめ問題については、全国的な問題でもありますが、やはり子どもたちの教育環境、家庭環境は様々です。教育委員会が中心となってしっかりと対応していきたいと思います。

【副市長】

有害鳥獣の捕獲数の実績については、今一番多いのはタイワンリスです。令和2年度実績で211頭を捕獲しました。その次がイノシシで、113頭捕獲しました。

【モニターB氏】

川奈の方でハリネズミの被害が出ているという話を聞いたことがあります。

【市長】

地域おこし協力隊の方で、専任でお願いしている方がいますので、今後もしっかりと対策をしていきたいと思います。

【モニターC氏】

予算とは違う話になりますが、今回市政モニターに1年間参加させていただき、いろいろな経験をさせてもらいました。1年では短いと思います。例えば、

任期を2年にして、1年で半分を入れ替える方がもっといろいろな意見が出ると
思います。また、もっと若い人を入れるといいと思います。批判ではありません
が、今回いろいろな協議会の代表の方も参加されていますが、市政モニターとは
少し違うと思いますので、別に分けた方がもっと意見が吸い上げられると思
います。

新図書館については、私が以前いたフィンランドには、タンペレというほぼ伊
東市と同じ規模の町があり、町の真ん中に図書館があります。その1階はムー
ミン博物館になっていて、世界中から人が集まってきました。せっかく良いもの
を作るのでしたら、本はもちろん大事ですが、県外からも人が集まるような施設に
すれば、図書館を通じて伊東市が活性化するのではないかと思います。

【市長】

市政モニターの任期が1年では短いということで、今年は会議が3回でし
たのであつという間だったと思いますが、任期や会議の回数についてはまた今後
検討していきます。

フィンランドの図書館についてご紹介いただきましたが、ムーミンは私も幼
少の頃からよく見ておりました。おっしゃる通り多くの方が集まるような施設
にしたいと思います。皆さんが作品を発表できるようなギャラリーを設置する
予定ですし、学校の統合で使わなくなったピアノを置いて、自由に弾けるよう
にするというようなこともできると考えています。

【モニターC氏】

ピアノでカラオケをするのも気持ちいいですよ。

【市長】

大変貴重なご意見です。これからもいろいろとご指導いただきますようよろ
しくお願いします。

【モニターD氏】

この予算の中には市民の方が使える予算というのはいくつかあると思
いますが、皆さんが使いやすいように周知してもらいたいと思います。例えば、新年度
もコワーキングスペース整備補助事業の予算が計上されていますが、私がコワ
ーキングスペースを開設した際には、残念ながら要件を満たさなかったので補
助を受けることができませんでしたが、新しい事業を始めるときには、どうし
ても初期費用がネックになります。もう少しいろいろな制度をオープンにして、ど
ういう補助金があるのか、どこの課に行けばいいのかなどをわかりやすくして

もらうといいと思います。

D X推進事業については、パブリックコメントでも意見を提出させていただきましたが、行政がハード面を整えても、市民の方がデジタル機器を使いこなせるかどうかが問題だと思います。私の店にも「パソコンの使い方は何から聞いたらいいかわからない」、「スマートフォンも電話は受けられるけど、メールは送れない」などといった相談が寄せられます。ハード面の整備を進めると同時に、市民の方向けにいろいろな講習や研修を行ったらいいいのではないかと思います。

ワーケーション推進事業の予算が新たに計上されていますが、ブランド研究会は引き続き活動していくという認識でいいのでしょうか。

【市長】

ブランド研究会は継続していきます。

【モニターD氏】

そうですね。また3ヶ年続くという話を聞きました。コワーキングスペースも伊豆高原にまた新たに2ヶ所できるという話を聞いていますので、そこでも何かもうちょっと広がっていけばいいなと思います。

教育費のコミュニティ・スクール推進事業に37,000円の予算が計上されていますが、具体的に何を行うのでしょうか。

【市長】

確かに、制度があっても市民の皆さんが知らないものもあるかもしれません。新年度は結婚支援事業という、結婚する方のお住まいなどに係る費用の補助を行う予定ですので、皆さんにしっかりお知らせしていきたいと思います。

デジタルトランスフォーメーション推進事業については、おっしゃるようにハード面を整備しても、利用の仕方がわからずに利用できないということも想定されます。例えば、ホームページに掲載したといっても、ホームページを開いてたどり着けないような方もいらっしゃるかもしれません。また、市役所においてになった場合でも、職員が自分の担当外のことはわからないということではきちんとご案内もできませんので、職員の研修なども行いたいと思います。また、現在新型コロナウイルスの感染者情報をメールマガジンで毎日発信していますが、いろいろな媒体を使って制度等の周知に努めてまいります。

ワーケーションについては、Dさんもコワーキングスペースを運営されていますが、今後また広がっていくものと思います。新年度は移住定住の促進にさらに力を入れていきます。ご存知だと思いますが、昨年静岡県内において転入者が転出者を上回った市町の中で、転入超過数が一番多かったのが伊東市でした。浜

松市も静岡市も転出超過となった中で、伊東市に転入者が増えているのは、テレワークが進んで伊東にお住まいを移しているという現象の表れだと思います。今後「お試し移住」といって、1週間単位で伊東にお泊りになっていただく方に宿泊費の補助金を出し、居住先を探す手助けをするということも進めていきます。

コミュニティ・スクールというのは、地域と学校が一緒に子どもたちを育てるという、昔は普通にあったコミュニティだと思いますが、そういうものが希薄になってきています。例えば、大人が子どもに声をかけると不審者だと思われるようなことが多くなりました。地域の皆さんが子どもたち一人一人を見守れるような環境にしていきたいなと思います。

【モニターE氏】

今回の資料を見て、こんなにいろいろな事業があるのだなと勉強になりました。保育園のICT導入事業がありましたが、私は介護施設で働いていて、介護の現場にももっとICTが導入されれば良いなと思います。今高齢者の方が外出を控えていて、買い物に行くのはばかられるので、病院しか行っていないというような話を聞きます。また、他の施設の知り合いから、利用者にタブレット端末を使ってお墓参りをさせてあげたらとても喜んだよというような話を聞きました。私の施設にはタブレット端末がありませんが、職員が業務で使うというよりも、利用者に楽しんでもらえるようにタブレット端末が欲しいなと思います。

私も図書館がすごく好きで、伊東に来て最初の頃は通っていましたが、仕事が忙しくなってだんだん通えなくなってしまいました。Facebookで伊東市の図書館がこうだったらいいなというグループがありましたので、参加して皆さんの意見を見ました。とても楽しみにしています。仕事が終わった後の時間でも利用できたらいいなと思います。

ワーケーションについては、市外の人でもそうですが、市内に住んでいる人も時間単位で宿泊施設を利用して、温泉で癒されながらちょっと仕事をするというように、いろいろな利用形態ができたらいいと思います。

【市長】

介護の現場の実情がよく分かりました。介護分野でのICTもこれからどんどん進んでいくと思います。タブレット端末などについても、国が導入を進めていくと思いますので、また補助金の制度などがありましたらお知らせできるようにしていきたいと思います。

図書館のワークショップに参加していただいていたありがとうございます。い

ろいろ活発なご意見が出ました。なるべく盛り込んだつもりですが、冒頭に質問がありましたように、巨額な予算はないので、限られた中で実のあるものにしていきたいと思えます。

市民の皆さんが観光客の皆さんに伊東の良さを伝えられるよう、今年度伊東市観光ブランドブックを作りました。観光名所や観光施設だけでなく、歴史や文化、伊東に縁のある著名人、例えば、今度千円札に印刷されます北里柴三郎さんや、東郷平八郎さん、若槻礼次郎さんなどが、かつて伊東に家を構えていたということを、いろいろな方に知ってもらいたいと思えます。お話にありましたように、伊東にある旅館やホテルをワーケーションの一環として市民の方にも使っただけのような仕組みを考えていきたいなと思えました。

【モニターF氏】

令和3年度の市政モニターに参加させていただき、ありがとうございました。予算とは別の話になりますが、私は元々せき喘息の持病がありまして、先月かかりつけの内科へ出向いたところ、熱は全くありませんでしたが、ちょっとせきが出るということで、診てもらえませんでした。どこに行けばいいのかと尋ねたら、2件ほど病院を紹介されました。薬だけが欲しかったのですが、紹介された病院に行きましたら、PCR検査待ちの人がたくさんいて、結果半日以上かかってしまいました。今は本当に風邪も引けない状態なのだと、この先不安になり、病院の受診問題が何とかならないのかなと思えました。

【市長】

今は本当に医療機関も慎重に対応せざるを得ない状況で、症状によっては新型コロナウイルスの感染を疑わなければなりませんので、最初にかかった医療機関の先生もそういう判断になったのだと思えます。現在まん延防止等重点措置の実施期間中で、静岡県は3月6日まで延長されるようですが、それが緩和されれば少しずつ改善されるのではないかと思います。いただいたご意見については私から医師会に伝え、皆さんの不安を取り除いていきたいと思えます。

【モニターG氏】

1年間ありがとうございました。仕事柄、観光のことを聞きたいと思えます。始めに、これまでの3年間でJTBがブランディング事業を担当して行っていたと思えますが、今回観光商工費の伊東市観光プロモーション事業の予算が新規で計上されています。これは一度、3年間で行ってきたものに区切りを付けて新しく始めるというような認識でいいのでしょうか。また、ワーケーション事業や国内向けの観光促進事業が主になるかと思えますが、今後の状況によっては

インバウンド事業の方もかなり回復してくるのではないかと、観光業界としては期待が大きいです。あと何年かかるかわかりませんが、今後の見通しとしてどのようなお考えを持っているのかお聞かせいただけたら嬉しいです。

次に、教育や子育てに関して、小学校の統合により通学時間が長くなったり、学区が広がる関係で地域との関わり方について考えていかなければならないと思いますが、公民館などを利用して、地域の高齢者や子どもたちが触れ合えるような場を作れたら、高齢者が外に出るきっかけもできますし、子どもたちも学童以外にも過ごせる場所が確保できると思います。

【市長】

この度3年間のデジタルマーケティングの総括を行いました。引き続きブランド研究会などを開き、どのようにお客様を呼び込んでいくかを継続して検討していきたいと思っています。当面は国内向けのコマーシャルをしていきますが、いずれインバウンドを推進できる時期が来ましたらしっかりと対応していきたいと思っています。ステイホームの時期にYouTubeで配信した動画は、あっという間に2,000万回再生を達成しました。必ず伊東を訪れる外国人の方はいらっしゃると思いますので、時期を見定めてまた観光協会にも相談させていただきます。

小学校の統合については、通学の課題に対しては、例えば、スクールバスの導入などもしっかり検討しているところです。子どもたちと高齢者の方々が触れ合えるような場については、まさに先程のコミュニティ・スクールがそういった役割を果たすのではないかと思います。新しい図書館も、子どもたちが学校の帰りに集まって、放課後に楽しく過ごせるような場所にできるかなと思います。いずれにしても、地域の方々が一緒に子どもたちを見守り、育てるといったような機運を高めていきたいと思っています。

【モニターH氏】

1年間どうもありがとうございました。土木費の生活路線バス運行補助事業については、路線バスの最寄りのバス停まで出て行くのが困難なところにお住まいの方々もたくさんいらっしゃると思います。特に別荘地のような景観の良い場所に住んでいる方々の中には、住み始めた当初は車の免許を持っていたけれども、いざ免許の返納を検討する時期が来たときに、今後の生活が不安なので返納を先延ばしにしている方もいるという話を聞いています。家に閉じこもりがちになってしまう方々も出てくると思います。今後そういった方々が安心して暮らしていけるように、家から最寄りのバス停や駅までを繋ぐような交通手段が確保できればいいと思います。どうしてもお金がかかることですので、他の

地域でも始めたはいいけれども続かないというケースも聞きますが、コミュニティバスの運行ですとか、タクシー会社と連携、町内会やボランティアなどの協力も含めて検討していただければと思います。

【市長】

路線バスはあまり活用されていないようであっても、無くなるとなると大きな問題となります。お話にありましたように、免許の返納に当たって踏ん切りがつかないという方もいらっしゃると思います。伊東警察署管内では、毎日数名の方が免許を返納しているという話を聞いています。例えば、タクシーチケットをお渡しするとか、今もデマンドタクシーの運行を行っているところがありますが、これからの大きな課題です。伊東市の高齢化率は今や43%に迫っていますので、どのように対応するかというのはこれからしっかり検討を進めていきたいと思っています。

【モニター I 氏】

教育費が大きく減額になっているのでどうしたことかと思いましたが、市民グラウンドの工事が完了することによる減額と聞いて納得しました。日常的に近くを通るのですが、大変大規模な工事で、素晴らしいグラウンドができるものととても楽しみにしています。

小学校の統合に関して、学校の環境整備や放課後児童クラブのための予算が計上されています。統合は子どもたちのために行われるものと承知していますが、統合することにより、財政的な負担の削減ができるのかどうか、試算がありましたら教えていただきたいと思います。もし削減が見込めるようでしたら、ハード面・ソフト面を含めて、子どもたちに還元していただければありがたいです。

最後に、天城霊園の合葬式墓地建設事業について、やはり全国的に墓じまいをする方や、永代供養をしてもらうためにそれまで縁のなかったお寺にお骨を預けるといった方もいらっしゃると思います。市が運営しているという点で、安心して預けられると思いますし、天城霊園のような風光明媚なところに、親や自分のお骨を収め、家族がお墓参りに来て泊まって帰ったりと、結果として観光にもつながればいいなと思いました。

【市長】

教育費の減額については、市民グラウンドの整備が完了することが理由ですが、それを除いた他の予算については大幅な増額になっています。三校の統合に関しても、放課後児童クラブの新しい建物を令和4年度中に作り、開校に間に合わせます。通学についても、スクールバスになるかどうかはわかりませんが、子

どもたちが通いやすい環境はしっかり作っていきます。財政的な資料はありませんが、一学年一クラスしかできない学校が三つできてしまった中で、三クラスをなんとか維持することでクラス替えもできますし、子どもたちにとって良い教育環境を整えられると思います。教員の数も、分散するよりも1ヶ所にまとめることで、効率的に配置できると思います。

天城霊園の合葬式墓地については、800体のお骨を一つのお墓に納める予定となりますが、今お話にありましたように、自治体で作るものなら安心だということで、結構希望される方が多いのではないかと考えています。初めての試みですのでやってみなければわからないところもありますが、もしご希望が多いようであれば増やしていくことも考えたいと思います。

以 上